

標題

「地域を盛り上げよう！」松江でGAP生産者協議会を設立

(ダイジェスト)

12月15日に松江地域GAP生産者協議会設立総会を開催しました。基調講演では美味しまね認証の審査委員長を務められている島根大学松本眞悟教授を講師にGAPの取組を振り返りました。松江地域ではこれまでも美味しまね・GAP認証者と実需者が連携する活動を行ってきましたが、協議会設立を契機にさらに活動の輪を広げていきます。

松江地域では、認証者の経営発展と連携強化を目的に、島根県GAP生産者協議会で松江地域リーダーを務める渡部卓也氏を中心に、認証者がみしまやと連携したフェアの開催や、松江市農林水産祭への出店などの活動を行ってきました。こうした活動が活発化・恒常化し、認証者の間で組織的活動の機運が高まったことを受け、12月15日、松江合同庁舎で「松江地域GAP生産者協議会設立総会」が開催されました。

総会には、美味しまね・GAP認証を取得している12経営体が出席しました。議事では、会員から役員体制について意見が出るなど、積極的な姿勢が見られる中、代表には渡部氏を選出され、同氏より「松江地域の活動をさらに盛り上げていきましょう」との挨拶で締められました。

総会後には、美味しまね認証の審査委員長を務められている島根大学松本眞悟教授を講師に「GAPへの取り組み方～美味しまね審査委員会を通じて～」と題して基調講演を行いました。講師からは、明確な基準が設けられない農産物を客観的に評価する手段として生産工程の記録を提案され、審査委員会での指摘事項を紹介していただきました。審査員の視点から現場での取り組みに対する疑問点を挙げられ、認証者が自らの農業経営を振り返る良い機会となりました。

今後は、フェアの継続に加えて飲食店とのコラボなど活動の輪を広げる予定です。農業振興部は、本協議会の事務局として活動を支援しながら、認証者の経営改善支援や消費者へのPR活動の提案などを行っていきます。



松江市農林水産祭の様子



設立総会記念撮影